

2026 9.12^{SAT} — 10.12^{MON}



SHINTARO Suzuki

カラフルパレット

鈴木信太郎

そごう美術館コレクションを中心に

開館時間 午前10時～午後8時 ※入館は閉館の30分前まで。※9月16日(水)は、午後7時に閉館いたします。
(そごう横浜店の営業時間に準じ、変更になる場合がございます)

入館料(税込) 一般1,200(1,000)円、大学・高校生1,000(800)円、中学生以下無料

※()内は、前売、公式オンラインチケットおよび以下をご提示の方の料金です。[クラブ・オン/ミレニアムカード、クラブ・オン/ミレニアムアプリ]

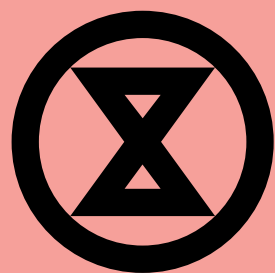
※障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者1名さまは無料でご入館いただけます。

※前売券は、9月11日(金)まで、そごう美術館または公式オンラインチケットにてお取り扱いいたします。

[主催] そごう美術館 [後援] 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

[協力] 学校法人北里研究所、荏崎大村美術館 [協賛] そごう・西武

《象と見物人》1930年
そごう美術館蔵



SOGO

横浜

電話 045(465)2111 大代表
www.sogo-seibu.jp

そごう美術館 SOGO MUSEUM OF ART
[横浜駅東口・そごう横浜店6階]



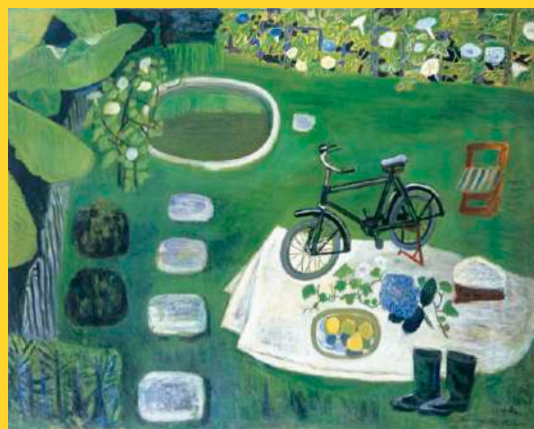
〈ひまわり〉1978年



〈白い服と黒い服の人形〉1978年



〈晴れた日の港(絶作)〉1989年



〈緑の構図〉1936年



〈東京の空(数寄屋橋附近)〉1931年



〈長崎風景(丘の眺め)〉1957年

すべてそごう美術館蔵

ここはずむ、カラフルな世界

鈴木信太郎(1895-1989)は東京・八王子生まれ。

明治・大正・昭和という三つの時代を超え、

93歳に至るまで絵画を描き続けた日本洋画壇を代表する洋画家のひとりです。

のびのびとしてかわいらしい絵柄は、洋菓子のパッケージなどにも採用され、現在も変わらず愛されています。喜びに満ち、温かみにあふれる信太郎の作品は、いつの世も見る人の心を和ませ、癒してきました。

明るく豊かな色づかいを得意とし、「色彩家」(コロリスト)とも呼ばれた信太郎。

本展は、鈴木信太郎が捉えた「色」に着目する展覧会です。

そごう美術館のコレクションを中心に、鈴木信太郎が慈しんだ、

朗らかで鮮やかな色彩の世界に迫ります。

関連イベント

*イベントの日時・内容等は変更になる場合がございます。
*イベント詳細は、そごう美術館ホームページにてご案内いたします。

スペシャルイベント

参加には、専用チケットのご購入が必要です。
専用チケットは公式オンラインチケットで販売いたします。

トークイベント「いろいろ、たのしむ 鈴木信太郎の世界」

著作『お菓子の包み紙 増補改訂版』はじめ、さまざまなメディアで鈴木信太郎の魅力を紹介・発信している文筆家・甲斐みのり氏によるトークイベントです。

〔講師〕 甲斐みのり(文筆家)

〔日時〕 9月13日(日) 午後2時～3時

〔定員〕 50名

〔参加費〕 1,200円(税込。入館料含む)

〔場所〕 そごう美術館展示室内

フラワーワークショップ「花で彩る鈴木信太郎の世界」

鈴木信太郎の描いた「色」を「花」で表現するスペシャルワークショップ。プリザーブドフラワーとアーティフィシャルフラワーで「ブーケ」「リース」を制作します。

〔日時〕 9月26日(土)、27日(日) 各日午前10時30分から／午後2時から

〔講師〕 藤田晃子(ヴィルフランシュ YOKOHAMA Blue Rose 代表)

〔場所〕 そごう美術館展示室内 〔参加費〕 4,000円(税込。材料費、入館料を含む)

学芸員によるギャラリートーク

9月12日(土)、20日(日)、21日(月)、22日(火)、23日(水)、29日(火)

10月1日(木)、4日(日)、6日(火)、8日(木)

〔時間〕 各日午後2時から

〔場所〕 そごう美術館展示室内

〔参加費〕 無料(別途展覧会入館券が必要です)

そごう美術館 SOGO MUSEUM OF ART
〔横浜駅東口・そごう横浜店6階〕

〒220-8510 横浜市西区高島2-18-1 TEL:045-465-5515(美術館直通)
×(旧 Twitter) @sogomuseum 公式 HP <https://sogo-museum.jp/> ▶



〔次回展開催予告〕

KIRIKANE Sculpture 山本茜展
2026年10月24日(土)～12月6日(日)